

# 柏林附近貨車仕譯驛ノ配置

工學士 手塚善

柏林ハ合計十七個所ノ貨物取扱驛ヲ有シ(第一圖參照)内九個所ハ Ringbahn 上ニ位シ残り八個所ハ當市ニ集注スル各線ノ終端ニアリ即

Hamburger-Lehrter Gbhf. ⇨ Hamburg 及 Hannover

方面線ノ

Stettiner Gbhf. 及 Nord Gbhf. ⇨ Stettin 及 Swelitz

方面線ノ

Ost Gbhf. ⇨ Königsberg 及 Thorn

方面線ノ

Schlesischer Gbhf. ⇨ Posen 及 Breslau

方面線ノ

Görlitzer Gbhf. ⇨ Görlitz

方面線ノ

Anhalter-Dresdener Gbhf. ⇨ Halle 及 Dresden

方面線ノ

Potsdamer Gbhf. ⇨ Magdeburg

方面線ノ

各終端ニ深ク市内ニ位置ス斯クテ市内ノ地ニテ貨物驛ヲ距ル三吉米(約一哩九)ヨリ遠キハナシト稱セラル

此等ノ貨物驛ニ發着スル貨物噸數ハ千九百十一年ニ發送合計三百六十三萬八千六百噸ニシテ到着合計九百九十八萬八千五百噸トス又之ヲ分テハ九個所ノりんぐ線貨物驛ニテハ發着合セテ四

百六十四萬六千六百噸ヲ扱ヒ一日平均一萬五千五百噸トス而シテ此等九驛ノ總面積ハ約十九萬二千坪ナルヲ以テ一日平均一噸ニ對シ約十二坪半ノ設備ナリ又内部終端貨物驛八個所ノ發着ハ合セテ八百九十八萬五百噸ナルヲ以テ一日平均約三萬噸ヲ扱ヒ驛ノ總面積約四十五萬坪從テ一日平均一噸ノ貨物ニ對シ約十五坪ノ設備トス又取扱貨物噸數ノ増加ハ最近十年ニ前者ニアリテハ發送百三十三ばーせんとヲ増シ到着ハ八十七ばーせんとヲ増加セリ後者ニアリテハ發送七十ばーせんとヲ到着四十四ばーせんとヲ増加セリ尙ホ此等貨物驛ニ出入スル貨車數ハ精確ニ知ルヲ得サレトモ終端貨物驛移轉問題ニ就テ委員ノ調査セル所ニ依レハ貨物輻輳期ニ前記十七驛ニ發着スル貨車數ハ一日五千三百車ナルヘシト從テ下ニ掲クル各任譯驛取扱車數ノ表ニ依リ伯林ヲ出入スル貨車ノ實數ハ一日平均一萬千車内外ト推定スルコトヲ得ヘシ

此ノ如キ夥多ノ貨車ヲ圓滑ニ運轉セシムルコトハ鐵道經濟上最モ重要ナル問題ニシテ附近線路ノ適當ナル設備ト整然タル任譯驛ノ配置ニヨリテ初メテ期シ得ヘキ者ニシテ此レカ實例トシテ伯林ノ如キハ蓋シ他ニ其比ヲ見サル所ナルヘシ即チ第一圖ニ見ルカ如ク當市ニ集注スル十一主要線ニ對シテりんぐ線ノ外方ニ七個所ノ任譯驛ヲ配置シ

Grunewald 驛ニハ Magdeburg 及 Gutsen ノ線ヲ

Wustermark 驛ニハ Hamburg 及 Hannover ノ線ヲ

Rummelsburg 驛ニハ Posen 及 Breslau ノ線ヲ

Niederschönweide-Johannisthal 驛ニハ Görlitz ノ線ヲ

Pankow 驛ニハ Stettin 及 Neustrelitz ノ線ヲ

Tempelhof 驛ニハ Halle 及 Dresden ノ線ヲ

Lichtenberg-Friedrichsfelde 驛ニハ Königsberg 及 Thorn ノ線ヲ支配セシメ大體ニ於テ各其支配スル

線上ノ上リ貨車ヲ集メテ此ヲ伯林着ト他線直通トニ仕譯ケ伯林着貨車ハりんぐ線ニ依リテ相當ノ貨物驛ニ送り直通貨車モ亦りんぐ線ニヨリテ該線ヲ支配スル仕譯驛ニ送り是ニ初メテ下リ貨物列車中ニ編入セラル即チ一仕譯驛カ其支配セサル線上ニ直通貨物列車ヲ出スコトハ其數極メテ僅少ナリ又下リ貨車ハ一度其線ヲ支配スル仕譯驛ニ蒐メラレ適當ナル車團若クハ驛順トナリテ下リ列車ヲ編成ス

但シ前記仕譯驛ノ内ぐるゝねわるとハ擴張ノ必要ニ迫ラレタルト同時ニ其位置 Berlin-Potsdamer Gbf.ト Potsdamトノ區間ノ貨車ヲ仕譯クルニ不適當ナルカタメ又一ニりんぐ線運轉ノ過繁ナルヲ濟ハンタメ所謂 Umgehungsbahn (Oranienburg, Nauen, Beelitz, Mahlow, Grünau, Lichtenberg-Friedrichsfelde 附近ヲ連結スル線(第一圖參照)ノ計畫決定ヲ期トシ此ヲ約十六哩外方ノ Michendorfニ移轉スルコトナリ既ニ構築ニ着手セリ因ニ Wustermarkモ亦此 Umgehungsbahn 計畫後ニ設計セラレタルヲ以テ七仕譯驛中ニテ伯林ヲ距ルコト最モ遠シトス

以上七驛ノ取扱車數其他ヲ表示スレハ次ノ如シ(但千九百十一年五月現在ノ Rangierpläneニ依ル)

仕 驛 名	取扱車數		新ニ編成シ若クハ編成ヲ變テ出發セシムル列車						到 發 列 車							
	一日ニ付キ	平均	伯 林 方 向		他 ノ 方 向		合 計		伯 林 方 向		他 ノ 方 向		合 計			
			定 期	不 定 期	定 期	不 定 期	定 期	不 定 期	定 期	不 定 期	定 期	不 定 期	定 期	不 定 期		
Grnewald.	5,000	10,000	22	8	30	16	35	51	31	21	49	70	16	8	24	94
Wustermark.	5,000	7,500	31	18	49	25	20	45	94	31	13	44	25	20	45	89
Rummelsburg.	4,500	6,000	44	18	62	21	12	33	95	36	26	62	16	10	26	88
Niederschönew.-Joh.	4,200	5,600	30	13	43	33	15	48	91	29	32	61	21	19	40	101

報 伯林附近貨車任譯驛ノ配置

Pankow.	5,000	6,000	36	30	66	29	20	49	115	47	22	69	32	23	55	124
Tempelhof.	5,000	6,500	51	21	72	27	19	46	118	21	26	47	1	9	10	57
Lichtenberg-Fr.	5,500	7,000	37	48	85	27	36	63	148	36	23	59	34	48	82	141

備考 此外編成變ヲナササル直通貨物列車ハ

Grunewald=5 Wustermark=17 Niederschöneweide-Joh.=4 Pankow=15アリ

今各任譯驛ニ就テ略記スレハ

ぐるーねわるとハ伯林しるってんぶるぐヲ距ル約二哩ニ位シまぐてぶるぐ方向行下リ貨車ハ途中  
 主要驛(第二圖參照)及其枝線行並ニ空車ノ三車團ニ仕譯ケ出發列車六(定期ノミ、以下亦同シ)ハ悉ク  
 驛順編成ヲ要シ大體 Magdeburg-Rohrsee マテ約九十哩間ノ驛順四ト爲ス又ぎすてん方向行下リ貨  
 車ハ五ツノ車團ニ分チ十列車何レモ驛順トナスヲ要シ概ネぎすてん迄約九十哩間ノ驛順四ニ編  
 成ス次ニ伯林方向行貨車ハ他ノ五仕譯驛行及北りんぐ線貨物驛行並ニ南りんぐ線貨物驛行ノ七  
 車團ニ分チ仕譯驛行列車十八ノ内十六ニハ驛順トナセル市内貨物驛着車ヲ連結ス外ニ市内貨物  
 驛行列車四アリテ内二列車ハ驛順トナスヲ要セス

此仕譯驛ハはんぶヲ有セス只一群ノ仕譯線ヲ其兩端ヨリ同時ニ使用シ其一方ノ操車用引出線ノ  
 ミヲ勾配約百分ノ一ニ傾斜セシメアリ而シテ將來みへんどるふニ仕譯驛移轉ノ後ハ單ニ伯林西  
 郊ノ一貨物取扱驛タルニ止マル筈ナリ

うすたーまるくハ東西二方向ノ列車ヲ別々ニ仕譯クル設備ノはんぶやーどニシテ市内ノ終端貨  
 物驛はんぶるがー驛ヲ距ル約十六哩ニアリ而シテしんでんたる方向行下リ貨車ハ十車團ニ分ツヲ  
 要シ十五列車中四列車ハしてんだる迄約七十哩間十ノ驛順ニ編成シ殘餘ノ列車ハ驛順トナサス

又はんぶるぐ方向行貨車ハ七車團ニ仕譯ケ九列車中三列車ハ驛順トナサス残りハ概ネうゝてん  
 べるげ迄約八十哩間ヲ九ノ驛順ニ編成ス次ニ伯林方向行貨車ハ市附近行ノ八車團ノ外ニばんこ  
 一驛ヲ超エテあんげるみんで行及びひてんべるぐふりどりひすふるで驛ヲ超エテきすとらん  
 行ノ二車團ヲ仕譯ケきすとらんニ向テ二直通列車ヲ出シ驛順トナサス又仕譯驛行列車二十三ノ  
 内二十一列車及はんぶるが一貨物驛行七列車ハ此ヲ驛順ニ編成ス尙ホうるどば一く行貨車ハ一  
 團トナシテぼつだむ迄六驛順ニ編成ス

るめるすぶるくハ市内ノ終端貨物驛しれじしハ驛ヲ距ル約三哩ニ位シ二方向ノ仕譯設備ヲ有ス  
 ルはんぶやードトス而シテぶれすらう方向行貨車ハ十五車團ニ仕譯ケ十六列車ノ内十二列車ハ  
 驛順トスルヲ要シ概ネぶれすらう迄約二百哩間ヲ驛順ニ編成ス又ぼ一ぜん方向行貨車ハ四車團  
 トナシ二列車ヲぼ一ぜん迄約百六十五哩間驛順ニ編成ス次ニ伯林方向行貨車ハ八車團ニ仕譯ケ  
 仕譯驛行列車二十二及しれじしハ貨物驛行列車十九ハ何レモ驛順ニ編成ス

に一だ一しえいねづい、よはにすたゝるハ市内ノ終端貨物驛けるりつハ驛ヲ距ル約五哩ニ位シ二  
 方向ノ仕譯設備ヲ有スルはんぶやードナリ而シテりつべなう方向行貨車ハ八車團ニ仕譯ケ二十列  
 車中六列車ハ驛順トナシ多キハこつとぶす迄約七十二哩間ヲ十ノ驛順ニ編成ス次ニ伯林方向行貨  
 車ハ市附近行ノ八車團ニ仕譯クル外りひてんべるぐ仕譯驛ヲ超エテ更ニきすとらんらんづべる  
 ぐ、くるいつ及しれないでみゝる行ヲ各一車團トナシけるりつハ貨物驛行ノ六列車及仕譯驛並ニ市  
 内貨物驛行二十四列車ノ内三列車ハ驛順トナサス

ばんこ一ハ一方方向ノ仕譯設備ヲ有スルはんぶやードニシテ市内ノ終端貨物驛してていゝな一驛  
 ヲ距ル約三哩半ニ位ス而シテしてていゝん方向行貨車ハ十七車團ニ仕譯ケ十四列車ノ内七列車  
 ハしてていゝん迄約八十哩ヲ十四ノ驛順ニ編成ス又のいしとれ一りつ方向行貨車ハ五車團ニ仕

譯ケ八列車中六列車ハ驛順トナスヲ要シ多キハのいしとれりつ迄約六十哩間ヲ十二ノ驛順ニ編成ス又くれんめん方向行貨車ハ三車團トナシ七列車中四列車ハ驛順編成トナシ多キハうらとすとく迄入驛順トナス次ニ伯林方向行貨車ハ十車團トナシ仕譯驛行列車二十六及しててい一な

一並ニのるど貨物驛行列車十ノ中八列車ハ驛順編成トス  
ておるほ一ふハ市内ノ終端貨物驛あんはるた一ヲ距ル約三哩ニ位シ一方向ノ仕譯設備ヲ有スルはんぶやードナリ而シテえるすた一うえるだ方向行貨車ハ五車團トナシ十四列車ノ内九列車ハ驛順編成ヲ要シ其多キハえるすた一うえるだ迄約七十六哩間ヲ十七驛順トナス又はるれ方向行貨車ハ十車團ニ分チ十三列車盡ク驛順トナスヲ要シ大體はるれ迄約百哩間ヲ十九驛順若クハべぶら迄約二百三十哩間ヲ三十驛順ニ編成ス而シテ伯林方向行貨車ハ九車團ニ分チ仕譯驛行二十三列車及あんはるた一驛行二十八列車合セテ五十一列車ノ内二十三列車ハ驛順ニ編成ス

りひてんべるぐふりードりひすふるでハ二方向ノ仕譯設備ヲ有スルはんぶやードニシテ市内ノ終端貨物驛あすと驛ヲ距ル約三哩ニ位ス而シテしないでみ一る方向行貨車ハ十四車團ニ仕譯ケ二十列車中十二列車ハ驛順編成ヲ要シ概ネしないでみ一る迄約百五十哩間ヲ三十驛順トナス又り一つえん方向行貨車ハ三車團トナシ四列車ノ内三列車ハ驛順トナスヲ要シり一つえん迄十一驛順ニ編成ス次ニ伯林方向行貨車ハ九車團ニ仕譯ケあすと驛行十五列車及仕譯驛行二十二列車ノ内三列車ハ驛順編成ヲ要セス

之ヲ要スルニ伯林附近ノ貨車仕譯驛ハ大約伯林ヲ中心トスル三哩ノ圓上ニ配置セラレ各驛トモ一日平均約二千五百車ヲ仕譯ク而レテ各驛ヨリ伯林ノ外方ニ出發セシムル列車ノ方向ハ合セテ約三十五達ニ第二圖參照其近距離行列車ハ大體 *Brandenburg, Oranienburg, Pannau, Strausberg, Fünfschalen, Königsusterhausen, Zossen* ノ結ノ半徑約二十五哩ノ圓迄驛順編成ヲシ遠距離行列車ハ *Magde-*

burg, Stendal, Wittenberge, Neustrelitz, Stettin, Schneidemühl, Posen, Breslau, Cöthun, Elsterwerda, Halle, Gütten へ  
結フ半徑約百哩ノ圓迄驛順編成ヲナスモノト云ヒ得ヘシ(完)

## 手宮及室蘭高架棧橋ニ於ケルくれをそーと油 注入材ノ海蟲侵蝕ニ對スル抵抗力調査報告

手宮及室蘭高架棧橋ニ於ケルくれをそーと油注入材ノ海蟲侵蝕ニ對スル抵抗力ニ就キ北海道鐵道  
管理局ヨリ左ノ通り鐵道院ニ報告アリタルニ依リ請フテ本誌ニ登載スルコトナセリ

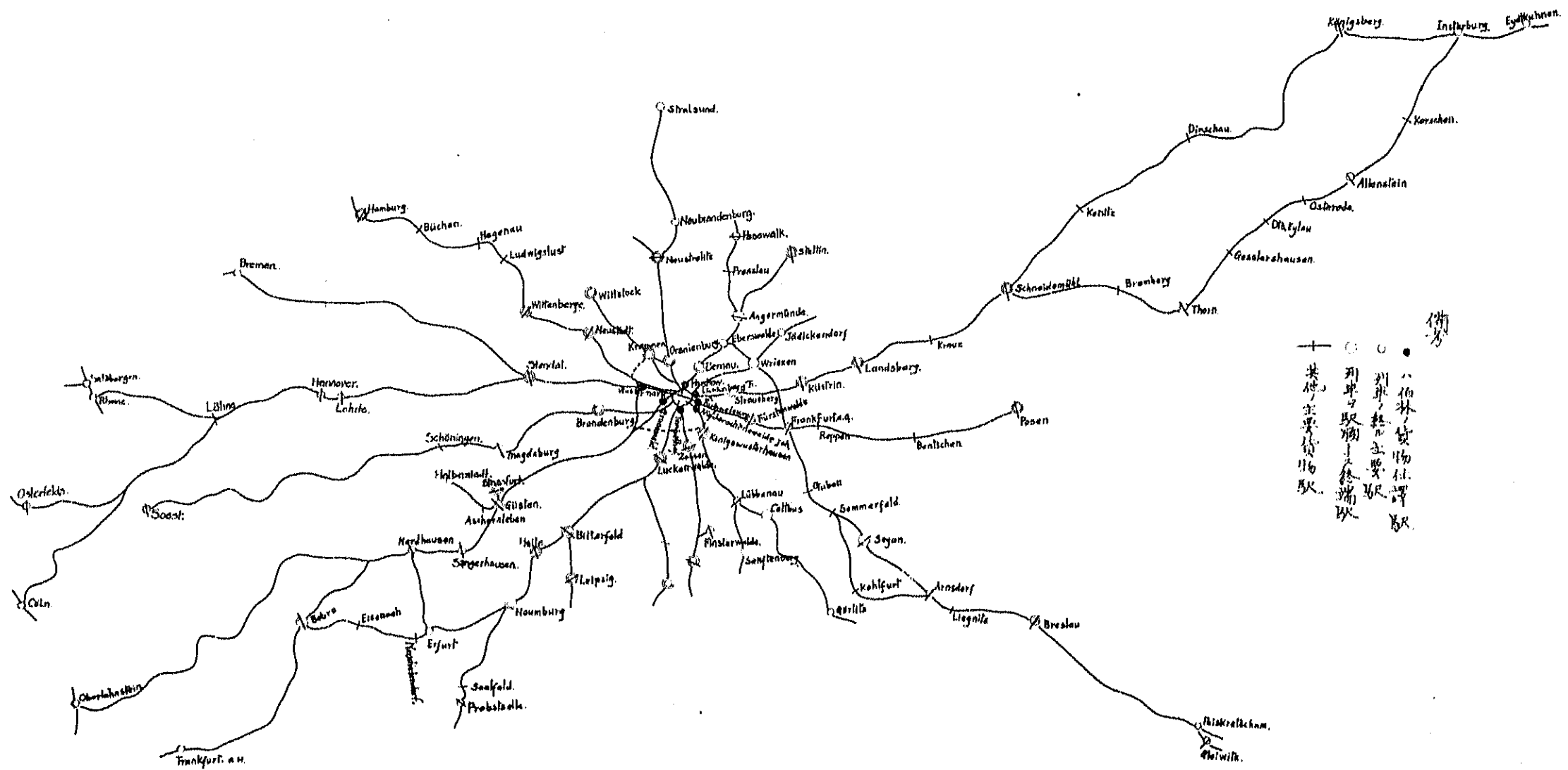
手宮及室蘭二港ニ於ケル高架棧橋ハ明治四十三年二月ヨリ建設ニ着手シ翌四十四年十二月竣成  
シ之カ基礎杭木ハ勿論振止筋違材横樑材等ノ海水面下ニ位置スル部分ノ用材ニ對シテハ海蟲ノ  
侵蝕ヲ防止センカ爲メ明治四十二年十二月ヨリ翌四十三年十一月ニ至ル間ニ砂川木材防腐場ニ  
於テくれをそーと油ヲ注入セシモノニシテ今回之カ注入材ノ海蟲侵蝕ノ有無ニ關シ調査仕候處  
其狀況別紙ノ通りニ有之候

くれをそーと油注入量並其滲入ノ狀態

注入油量ハ杭木ニハ總テ一立方尺ニ付十八封度(約四升三合)浸潤ノ深サ二吋以上ヲ筋違材横樑材  
等ニハ十八封度乃至十三封度(四升三合乃至三升一合)浸潤ノ深サ一吋以上滲入セシメタルモノニ  
シテ杭木ハ每本ニ付生長錐ト稱スル圓筒形ヲナセル錐ヲ簞入シテ浸潤ノ深サヲ測定セリ然レト  
モ往々滲透二吋ノ深サニ達セサルモノアリシヲ以テ此種ノ杭木ハ假令海蟲ニ侵蝕セラレ取換ヲ  
要スル場合ニ當リテモ比較的作業容易ナル棧橋ノ先端ノ防蔽材ニ充用セリ  
而シテ注入油ハ丸太材ニアリテハ材周ヨリ年輪ニ平行シテ概ネ一樣ニ浸潤セルヲ以テ外部ヨリ







備考

- 柏林貨物站
- 柏林車站
- 主要貨物站
- 主要車站
- 主要貨物站

Frankfurt a.M.

Thüringen  
Weimar